

資料 4

平成29年度 多摩区地域包括ケアシステムの推進に向けた取組について

1. 生田地区「ご近所パワーアップ会議」について

生田地区において、町内会・自治会会長や町内会・自治会から推薦を受けた人を対象にした連続講座、「町内会・自治会で考える生田ご近所パワーアップ会議」の第1回目を開催しました。

日時：平成29年9月20日（水） 午後1時半～4時

参加者：22町内会・自治会 33名出席

見学：地域包括支援センター（3人） 取材：Better Care（2人）

【第1部】 事例紹介 かりがね台自治会・・・住民主体の課題解決に向けた取組
大谷自治会・・・地域通貨「たま」を使った参加の仕組み
葉月町会・・・メニューを作り住民間での助け合いの仕組み

【第2部】 グループワーク

6グループに分け、2つのテーマについて話し合い、最後に話し合った内容を報告し、全体で共有しました。テーマは平成28年度の町会・自治会長会議で出た意見を整理し設定しました。

テーマ1 「地域の人に参加しやすい機会づくりや、多世代交流の場を考えよう」

テーマ2 「みんなではじめられる！続けられる見守り・支え合いの取組を考えよう」

課題	参加者が固定化 若い人が参加しない	担い手の固定化	場所の問題	高齢者・子育て世代の見守り、障害者の把握、個人情報の制約
アイデア	広報に工夫、子どもの参加をきっかけにする、防災など関心の高いテーマ、主催者が楽しむこと	女性の参加、役員決めに若者を混ぜる工夫、子ども会などとの連携、規約の変更	空き家活用のしくみづくり、居場所づくりで顔を合わせる機会を増やす	地域でのルール作り、平時からの関係づくりと情報共有化、多くの主体が関わることで各々の負担軽減

（アンケート抜粋）

- ・事例紹介された取組を自分の町会でも実現できたらいい。
- ・グループでの意見交換で、他町会の取組が参考になった（高齢者の安否確認の具体策など）
- ・町会での交流の促進（戸建と集合住宅、子どもと高齢者など）

※取組主体として自町会で、他の町会と連携、企業と、などの意見もあり。

次回、ここで出た課題やアイデアを振り返り、近い地域同士や関心のあるテーマ毎ごとにグループを作り、地域の中で具体的に解決したい活動の実践アイデアや連携の体制などについて話し合います。

第2回目：平成29年11月7日（火） 報告会：平成30年2月予定

2. 菅地区、登戸地区、稲田地区の町内会・自治会ヒアリングにの結果について

菅、登戸、稲田の3地区で町内会・自治会を対象としたヒアリング調査を行い、町内会・自治会の活動や抱えている課題やアイデアなどを聞き取り、全体に共通する傾向などについて整理しました。

実施町会：菅地区1町会 登戸地区10町会 稲田地区8町会

実施方法：みまもり支援センター職員が調査員となり、町内会・自治会会長等に直接聞き取り調査を実施。

ヒアリング項目：①地域の特徴や自慢できるところ ②町内会・自治会で力を入れて取り組んでいること
③今後取り組みたいこと ④地域の中での不便なこと、困りごと ⑤不便なこと、困りごとを解決するためのアイデア ⑥どのような町になったらいいか ⑦その他

【全体の傾向】

加入率や高齢化率、組織発足の背景など町内会・自治会ごとに特徴はあるが、どの町内会・自治会でも地域の顔をつなぐため、様々な活動を実施している点は共通しています。各地域で転入者による緩やかな人の入れ替わりはある一方で、町会組織のコアメンバーは固定化し、次世代への交代や担い手不足について多くの町内会・自治会が共通の課題を抱えています。

<主な活動>

・防災 ・防犯 ・盆踊り ・お祭り ・美化活動 ・見守り活動

(※子ども会、老人会、近隣町会や事業者と連携、あいさつ、独自のイベント、情報伝達)

<課題>

- ・町会運営の継続（担い手、参加者、資金の課題、町会加入、高齢化）
- ・個々の住民を対象とした活動（個人情報への制約、マンパワー不足、住民意識の温度差）

<アイデア>

- ・町会活動の広報 ・後継者の発掘、育成 ・転入者の加入促進 ・町会活動のスリム化
- ・資金確保の工夫 ・得意分野の活用

<キーワード>

- ・住民間の仲間意識の醸成 ・既存の活動を濃くしていく ・安全で安心して暮らせるまち
- ・会館を核にコミュニティの場づくり ・近所で顔見知りになり互いに助け合える関係づくり
- ・施設に入らなくても暮らし続けられる町 ・町会活動の延長が福祉につながる
- ・町内会・自治会は地域の顔をつなぐために各行事に向けて努力している

【まとめ】

町会活動の延長が地域包括ケアの推進につながっている

3. 中野島地区の取組について

中野島地区では地域づくりの中心となる協議会をつくり、「中野島多世代つながり愛プロジェクト」の取組を進めています。

【主な取組】

- 学校、地域と連携したあいさつ運動
- 交流と居場所づくりの企画・運営などを担う地域人材の育成
- 上布田カフェ ～多世代交流カフェ～ <毎月第1水曜日 午後2時～4時>
 - ・地域住民の方が気軽に立ち寄れる交流の場の創出を目指した活動で、子育て世代と高齢者を対象に、世代を通じて興味を持てる内容を企画、運営
- 多世代交流型ノルディックウォーキング講座
 - ・9月25日に説明会、10月から隔週で全4回実施
 - ・中高年から高齢者の方が30～40名参加
 - ・参加者同士が講座を通して仲良くなり、講座終了後も継続して自主活動できるように支援
 - ・プログラムの内容は、まちプロとインストラクターが打ち合わせして決定

4. 5地区での地域づくりのスケジュールについて

平成29年度 5地区での地域づくりのスケジュール					
	菅地区	中野島地区	登戸地区	福田地区	生田地区
4月		中野島多世代つながり愛プロジェクトの継続			かりがね台モデル事業の波及
5月					
6月	町内会・自治会ヒアリング調査	あいさつ運動	町内会・自治会ヒアリング調査	町内会・自治会ヒアリング調査	生田近所パワーアップ会議
7月		多世代交流カフェ			
8月					
9月		多世代交流イベント			第1回 WS
10月	事業者間の交流会		カフェスタート		
11月	ヒアリング結果を町会に報告		ヒアリング結果を町会に報告	ヒアリング結果を町会に報告	第2回 WS
12月					
1月	地域情報の収集	新たな人材発掘ワークショップ	単一町会で推進	単一町会の地域を細分化して推進	報告会
2月					
3月					